

令和元年度決算のあらまし

1. 概要

令和元年度においては、平成28年度に策定した「淡路広域水道企業団水道事業ビジョン」及び「経営戦略」に基づき、投資の合理化等を図りながら、基幹浄水場の改修や重要施設の設備更新、老朽管の更新を実施しました。また、経営状況では、人口減等による給水収益の減少や高料金対策補助金の減少から、収入全体で、対前年度1億7千万円余減の66億円余となったものの、減価償却費や企業債利息の減などにより、支出全体で、対前年度1億2千万円余減の63億4千万円余となり、純利益が2億8千万円余となっております。

今後も、施設の統廃合による投資規模の適正化や適時の点検・補修による施設の長寿命化により更新費用を抑制するなど、更に計画的かつ効率的な事業経営を図って参ります。

2. 業務量

区 分	令和元年度	平成30年度	増減	増減率
(1) 給水人口（人）	132,320	134,041	△ 1,721	△ 1.3%
(2) 給水栓数（栓）	64,512	64,583	△ 71	△ 0.1%
(3) 年間配水量（m ³ ）	17,355,589	17,175,717	179,872	1.0%
(4) 1日平均配水量（m ³ ）	47,420	47,057	363	—
(5) 1日最大配水量（m ³ ）	56,132	55,685	447	0.8%
(6) 年間有収水量（m ³ ）	14,602,541	14,694,714	△ 92,173	△ 0.6%
(7) 有収率（%）	84.14	85.56	△ 1.42	—
(8) 職員数（人）	62	63	△ 1	—
(9) 供給単価（円/m ³ ）	306.97	305.99	0.98	—
(10) 給水原価（円/m ³ ）	381.46	386.40	△ 4.94	—
(11) 資本単価（円/m ³ ）	221.88	229.28	△ 7.40	—

3. 財政の状況

【税抜：千円】

区 分	令和元年度	平成30年度	増減	増減率
(1) 収益的収入	6,631,833	6,805,619	△ 173,786	△ 2.6%
給水収益	4,482,558	4,496,500	△ 13,942	△ 0.3%
補助金、負担金	1,298,603	1,457,428	△ 158,825	△ 10.9%
長期前受金戻入額	769,903	783,091	△ 13,188	△ 1.7%
加入金外	80,769	68,600	12,169	17.7%
(2) 収益的支出	6,341,849	6,464,320	△ 122,471	△ 1.9%
(3) 純利益	289,984	341,299	△ 51,315	△ 15.0%
(4) 留保資金残高	5,192,364	4,984,638	207,726	4.2%
(5) 地方債現在高	29,998,845	31,603,911	△ 1,605,066	△ 5.1%
当年度発行額	798,000	562,900	235,100	41.8%
当年度償還額	2,403,066	2,432,585	△ 29,519	△ 1.2%
(6) 他会計からの繰入金 ^{注)}	1,261,545	1,416,791	△ 155,246	△ 11.0%
高料金対策分	1,214,736	1,368,449	△ 153,713	△ 11.2%
水源開発及び統合簡水分	35,248	39,341	△ 4,093	△ 10.4%
消火栓維持管理外	11,561	9,001	2,560	28.4%

注) 収益的支出に対する繰出金

4. 工事の状況

【税抜：千円】

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
建設改良費	1,374,331	1,246,229	128,102	10.3%
(主な工事内容)				
・慶野浄水場改修工事 (131,885,100円)				
・上田浄水場電気設備更新工事 (68,263,250円)				
・監視・制御システム更新工事 (169,812,720円)				
・送配水管布設工事 (布設替含む) (1,000万円以上：計11件 428,897,200円)				

5. 損益計算書

【税抜：千円】

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
(1) 水道事業収益	6,631,833	6,805,619	△ 173,786	△ 2.6%
営業収益	4,506,939	4,517,532	△ 10,593	△ 0.2%
営業外収益	2,124,708	2,288,065	△ 163,357	△ 7.1%
特別利益	186	22	164	745.5%
(2) 水道事業費用	6,341,849	6,464,320	△ 122,471	△ 1.9%
営業費用	5,719,812	5,783,781	△ 63,969	△ 1.1%
営業外費用	620,441	677,364	△ 56,923	△ 8.4%
特別損失	1,596	3,175	△ 1,579	△ 49.7%
(3) 純利益	289,984	341,299	△ 51,315	△ 15.0%

6. 貸借対照表

【税抜：百万円】

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
(1) 資産合計	87,735	91,315	△ 3,580	△ 3.9%
固定資産	82,164	85,885	△ 3,721	△ 4.3%
流動資産 (現金預金、未収金等)	5,571	5,430	141	2.6%
(2) 負債合計	51,664	53,911	△ 2,247	△ 4.2%
繰延収益	21,217	21,792	△ 575	△ 2.6%
企業債	29,999	31,604	△ 1,605	△ 5.1%
引当金 (修繕及び賞与引当金)	103	105	△ 2	△ 1.9%
未払金外	345	410	△ 65	△ 15.9%
(3) 資本合計	37,844	37,404	440	1.2%
資本金	31,401	31,251	150	0.5%
剰余金 (資本/利益剰余金)	6,443	6,153	290	4.7%
負債・資本合計	89,508	91,315	△ 1,807	△ 2.0%

7. 資金不足比率

会計	令和元年度資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20%

注) 資金不足額がない場合は「—」と表記しています。